

【配点】
 ① ③・④・⑦ ② ③・⑨ 各6点×5 その他各4点×10

1 早口言やすさ

(完答)

2 ウ

3 音を生成するために、口の中で空気の流れを阻害する位置。

(同意可)

4 「神(かみ)」の「み」の子音が、共通母音である「い」を持った「アニメ」の「ニ(に)」の子音と入れ替わっている。

(同意可)

5 ア 6(1) 単語の近い音 (2) 発音を別して

(完答)

7 英語では、アールとエルの発音を音韻として区別しているが、日本語では、その区別をしていないから。

(同意可)

2 1 ひび 2 I 知人過ぎ 3 II 心か友達

(完答)

(完答)

3 いつもの透明な薬ではなく、黄色い薬を塗りたいという願いがなかったから。

(同意可)

4 エ 5 エ 6 より、くないか 7 昇格 8 C

(完答)

9 これまで楽しく話していた女の子のひどい咳が止まらないので、心配になっている。

(同意可)

3 1 ① 念頭 ② 博学 ③ 皮膚 ④ 空輸 ⑤ 用量 ⑥ 固辞 ⑦ 指南 ⑧ 一任 ⑨ 努 ⑩ 覚

⑪ やおもて ⑫ とな

2 ① 画 ② 月 ③ 給 ④ 転 ⑤ 青 ⑥ 期

1

1 Aの文章は全体の話題を示す問いかけから始まり、早口言葉の例から言いにくさにつながる共通点を二つ挙げて、最後にまとめるという構成であった。ここで示された共通点は、「すばやく発しにくい音が含まれていること」と「似た音にひきずられて違う発音をしてしまうことが起こりやすい」ということであったが、終わりがまとめであることに気づけば早く答えられただろう。

2 早口言葉で使われる言葉がどれくらい変わっているかを調べるために、使われている言葉も中身も平均的な文章と比べている。

3 直前で説明されていることであるが、二文を一文にまとめる必要があるため書きにくかったかもしれない。本文中の言葉をまとめる記述においてはどの言葉をどう配置していくのかもふだんから意識していこう。

4 「み」を「に」と言い間違えており、共通母音は「い」である。これらを問いの『カルビ』のく入れ替わっている」の文言と置き替えていけばよい。

5 直後の例に挙げられているように、もともと日本語の音声にはいろいろな種類がある、ということである。その他はそれぞれ、「ライブラリー」…「図書館」や「蔵書」。ウ「バランス」…「釣り合い」。エ「アクセス」…「コンピューターや交通機関内の連絡」。オ「インパクト」…「衝撃」。

6 ①——線⑧は直前の出雲地方の方言についての話をまとめているところである。「出雲方言の『エ』は音声として」「異なっていることに当たる部分を探す。「単語の最初の『エ』が「共通語の『イ』に近い音」になるということは、共通語の『エ』とは違う音になるということだと考えられる。②——線⑧の二つ前の段落にまとめられているように、「音韻」とは「頭の中にある発音の区別の体系」のことなので、「発音を区別している」という内容を探していこう。

7 音韻の体系が異なっていることの例として、英語と日本語ではアールとエルを区別するかしないかが違うということを挙げている。日本人が区別に苦労するということは、日本語ではアールとエルの音韻上の区別はないということである。

2

1 文字通り「語の感じが好きな」ということである。「ひびき」という言葉には「音の鳴り具合」という意味だけでなく、「音から受ける感じ」という意味がある。

2 ソノミが同輩や友達についてどう思っているかは——線②の後に書かれていた。問いの文にあてはまる言葉を探していこう。

3 「わくわくした」理由につながるプラスの事情をたどっていくと、——線③の三行後の「それが叶ったのだ」が見つかる。ここから「それ」が何を指しているかを明らかにしていこう。

4 物語において、漢字、ひらがな、カタカナの表記をわざと変えているのには作者のねらいがある。この物語では、まだ幼稚園児であるソノミが、独特の視点を持っていることのギャップを中心にして物語が展開している。

5 ここでの「鈍く見える」は、ソノミが「事務的な謝罪」をすることが同輩たちが求めているものではなくおろかに見えるだろう、ということである。それに合った言葉を選ぼう。

6 ソノミがデリラを見るときに口を開ける理由は、物語の冒頭に書かれていた。このように事情や、人物の考え、性格について説明されている部分は内容を頭に入れるだけでなく、書かれていた場所をマークしておきたい。さっと思いつけなかった場合も、冒頭を飛ばさず答えを探していれば、早く答えが見つかっただろう。

7 「降りる」の対義語であるが、傷につける薬が透明のものになったことが「降格」であれば、対義語はそれまでの「黄色い薬」を塗っていたところにあるだろうとも見当がつけられる。

8 「目を丸くする」というのはおどろきを表す慣用表現であり、ここでは「隣のクラスの女の子」が、ソノミの傷の話に興味を持って返答していることを表している。これと対照的な態度は、cの手当して帰ってきたソノミに、何の関心も示さず自分が怒られないことだけを心配している同輩の反応となる。

9 ソノミがひどい咳をしている女の子に手当をしているところである。苦しそうな女の子を心配している、ということが答えの中心になるが、その女の子が知人レベルの同輩たちとは違って、ソノミと話が合う相手であることもふまえた答えを作りたい。背中をさすっているのも、女の子の苦しみを和らげてあげたい、まで説明してもいいだろう。

3

1 ①⑤は他の同音異義語と、⑨⑩は同訓の別字と取り違えないように注意しよう。②は「博」の右上の点を忘れないように、④は「輪」を「輪」としないように気をつけよう。⑥は「はっきりと断ること」、⑧は「すべてを任せること」という意味である。⑦⑪⑫はふだんあまり見ない言葉や言い回しであるので、ここでしっかり覚えておこう。

2 ①④⑤は特に同音の別字との取り違えが多いものなので気をつけよう。